

平成25年 第9回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 平成25年9月12日(木) 午後4時07分～午後4時48分
2. 場 所 総合教育センター 2階 講座室
3. 主 宰 者 委員長 滝内 秀昭
4. 委員の出席 滝内 秀昭 川畑 徹朗 廣山 義章 小林 万理子 木下 誠
5. 委員の欠席 なし
6. 傍 聴 人 なし
7. 関係者の出席

教育長	木下 誠	保健体育課長	早崎 潤
管理部長	谷澤 伸二	学校給食センター所長	松浦 洋一
学校教育部長	太田 洋子	スポーツ振興課長	谷 泰史
生涯学習部長	田中 裕之	公民館長	池田 真美
教育長付参事	村上 雄一	図書館長	田中 茂
教育長付参事	大西 俊己	博物館長	亀田 浩
学校教育室長	峰松 誠治	人権教育担当主幹	松山 和久
総合教育センター所長	江原 礼子	中学校給食推進班主幹	田中 康之
学校教育部副参事	村上 順一	生涯学習部主幹	善入美津治
生涯学習部副参事	小長谷正治	少年愛護センター所長	倉島 正佳
人権教育室長	大野 浩史	学校改革・学事課副主幹	垣内 修
職員課長	升井 竜雄	保健体育課副主幹	入江 宏樹
施設課長	田原 安治	教育総務課長	中井 秀典
教育施策企画担当主幹	花光 潤一	教育総務課副主幹	乾 義昭
学校指導課長	春名 潤一	教育総務課	山本 逸美
学校改革・学事課長	大村 寿一		

8. 議 事

- (1) 開会宣言 滝内委員長(午後4時07分)
- (2) 日程報告 滝内委員長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員これを了承。

日程第 1	前回会議録の承認
日程第 2	教育長報告
- (3) 前回会議録の承認(日程第1)

平成25年第8回伊丹市教育委員会定例会(平成25年8月22日<木>開催)の会議録については、全委員一致でこれを了承。
- (4) 教育長報告(日程第2)

教育長の指示により、管理部長より「9月分人事報告」・「8月分教育施設関係工事の着工・

竣工報告」・「8月分寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部の、生涯学習部長より生涯学習部の、教育長付参事より人権教育室の、教育長付参事兼中学校給食推進班長より中学校給食推進班の、「8月分行事実施報告」「10月分行事実施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

木下教育長 1 - 2 ページの人事報告。市内の学校園の休職・休暇等の状況について。小学校で非常に出入りが多いと思うが、教頭の病気休暇時の対応等について説明してほしい。

升井課長 学校に対しては学校の要望に応じて指導主事を派遣しており、本人については、週1回、学校長が教頭の配偶者と面談をし、逐一状況を聞いて把握している。

木下教育長 前回報告を受けた休職中の初任者の経過はわかるのか。

村上副参事 夏季休暇を迎えた頃から、状況は少し良くなってきており、今まで難しかった外出もできるようになってきた。ただ、2学期が始まる時期なので、気持ちの上で落ち着いていないところがあるため、学校長が継続して責任者もしくは保護者とも連絡を取っている。初任者研修を担当している総合教育センターと職員課とで連携しながら、継続して見守っていきたいと思っている。

木下教育長 初任者の場合、休める日数は90日だったか。

升井課長 健康管理審査会という県の審査会があり、その中の精神部会で認定されているので、病気休暇として元々90日あるものが、初任者では1年延長される可能性がある。

木下教育長 わかりました。では、学校訪問をする中で初任者の中に、同じような兆候が見られる者はいなかったか。

村上副参事 現在は1名と聞いている。これから9月、10月に向けて、初任者の第2回目の訪問指導として、学校での様子を把握するとともに授業の様子を見ていく計画を立てている。その中で、1学期以降の学級でのことや保護者への対応、学校内での孤立等はないか、気をつけて聞いていきたいと思っている。

木下教育長 是非、早期発見、早期対応で深刻な事態に陥らないようにお願いします。

小林委員 23ページ。19日の歴史ロマン体験学習は、夏休みで募集が多かったため参加者の枠を広げたと聞いた。今回募集人員は20名のところ、電話がとても多いということだが、今回も枠を広げる予定はないのか。

小長谷副参事 3ヶ月分を一度に募集をかけており、7月、8月、9月分は、4月に行なった4月、5月、6月分の第1募集に比べると、応募者多数でキャンセル

待ちが増えたため、急遽部屋やボランティアの方を増やし、募集人員を30名に拡大した。今回の応募状況は、確かに募集を上まわっていたが、7月に募集したときに比べると少し低い。ただし、キャンセル待ちを設定しているので最初の20名の枠に入らない方でも、キャンセルがあれば、対応できる。部屋を借りているので定員は自由にはならないが、12月に、1月、2月、3月分の募集をするときに、どのような状況になるかによって来年度はどのようにしていくか検討をしていきたい。

川畑委員 先ほどの市内学校園の休職の報告で、教頭が休んでいるとの事だが、教頭の仕事は誰がカバーするのか。

太田部長 基本的に教頭は授業がないので代替教員は来ない。そのため、校長が教頭の事務処理も行うことになる。

木下教育長 指導主事も入れ替わり立ち替わり支援する。

太田部長 OBの指導員も行っている。だが、常駐すると上手くいなくなる部分もあるので、学校の様子を見ながら室長やOBが行ったり、指導主事が半日行ったりして、情報収集をしている。少しでもおかしければ、誰かが常駐する等の対応もしなければならないが、できるだけ学校の力でもう一度体制を作っていけるようにアドバイスをしている。職員課あるいは学校教育部で校長の面談もしている。昨日も校長に来てもらい、学力についてどうしていくか面談した。そのような形でサポートをしている。

木下教育長 14-1ページの図書館。昨年度7月1日にオープンし、1年間で40万人という目標をほぼ達成したが、2階の児童書貸出人員が、前年の8月と今年の8月を比べて760人くらい減っている。大幅に減少した要因は何か。また、このまま減少していくおそれはないのか。

田中館長 昨年の8月というのは新館効果のあった時期。それに比べると今回の8月の入館者数はほぼ同様の水準。昨年の8月に比べて貸出人員が減ったのは、最初の時期なので子どもたちが面白がって自動貸出機等を使っていた部分もあったと思う。入館者数、貸出冊数についてもそれほど変化していないので今のところ心配はしていない。

木下教育長 一般書の貸出人員はほとんど同じなので、児童書が減っているのは、何か要因があるのか少し気になったのだが、去年は子どもが珍しかったということか。

田中館長 そうです。

木下教育長 今年も40万人を目指すのか。

田中部長 はい。

木下教育長 是非、願います。

(9) 閉会宣言

滝内委員長 (午後4時48分)

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育委員会委員長

滝内 秀昭

伊丹市教育長

木下 誠